

# 「子どもも教職員も笑顔あふれる学校」へ 学校における働き方改革へのご理解とご協力をお願いします



滋賀県教育委員会  
教育長 村井泰彦

子どもたちの学びの充実のためには、教職員が誇りややりがいを感じ、健康でいきいきと働くことが大切です。また、働き方改革の推進には、保護者・地域の皆様との連携・協力が不可欠です。子どもたちの笑顔あふれる学校づくりのため、皆様のご協力をお願いいたします。

## 保護者・地域の皆様へ

子どもたちへのよりよい教育のために、学校へのご理解・ご協力いつもありがとうございます。

### 勤務時間内での 対応にご協力を

- 学校への電話は緊急時を除き、**勤務時間内**をお願いします。
- 勤務時間外は、**自動音声対応電話への移行**が進んでいます。電話が繋がらない場合は、**翌日以降の勤務時間内**に連絡をお願いします。



### 学校とのよりよい 関係づくりにご協力を

- 登下校については、安全確保のため、引き続き**家庭・地域での見守り**をお願いします。
- 部活動や読み聞かせなど、**子どもたちへのサポート**をお願いします。



### 休日の地域行事等への参加 の見直しにご協力を

- 教職員が参加する会合・行事のうち、可能なものについては、**平日・勤務時間内の開催**をご検討ください。



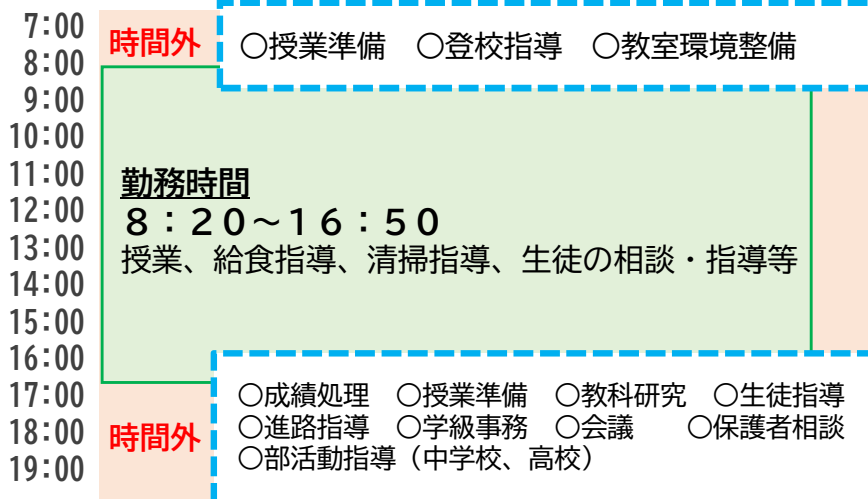
## 教員の働き方の状況

### ◇教員の正規の勤務時間（例）

午前8時20分～午後4時50分

### ◇早朝や勤務時間以降は、時間外です。

<教員の1日の勤務例> ※学校によって異なります。



▽**超過勤務時間**は減少傾向にあるものの、**月平均37.3時間** ※と未だ高い水準にあります。

※令和7年度全校種（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）の月平均

▽教職員の長時間に及ぶ超過勤務は、教職員の**心身の健康保持**はもとより**子どもと向き合う時間の確保**や、**よりよい教育の実現**のためにも、早く解決しなければならない問題です。



## 主な目標

### 超過勤務時間の削減

○教員全体の超過勤務時間の月平均を**30時間**程度まで削減



### やりがいと働きやすい職場環境

○「やりがいがある」と肯定的な回答**90%以上**  
○「働きやすい」と肯定的な回答**80%以上**



### 年次有給休暇の取得促進

○休みやすい職場づくり  
年**16日以上**の年次有給休暇を取得



## 取組計画の3つ柱

教職員が誇りややりがいを感じ、心身ともに健康でいきいきと働き、「子どもも教職員も笑顔あふれる学校」の実現を目指して取組を進めます。

### 【1】子どもと向き合う時間に専念できる環境づくり

- 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置
- 部活動の地域連携・地域展開 等



### 【2】業務の削減・効率化

- 学校間を横断する教材等の共有化
- ICTや生成AIの活用 等



### 【3】働きやすさの確保

- 定時退勤日・ノー残業デーの徹底
- 新規採用者へのさらなるサポート 等



※ 詳しくは、QRコードまたはURLから  
「学校における働き方改革取組計画【令和8年3月策定】」  
をご覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/edu/zinzisaiyou/hatarakikata/349995.html>

